

令和2年7月13日

北九州高齢者福祉事業協会
特養部会長 木戸 邦夫

新型コロナ対策の協会活動提言

～ 北九州市及び川原先生（市新型コロナ対策専門官）の協力を得て ～

日々の業務、また新型コロナの連日対応、大変お疲れ様です。特に、コロナ対策については個々の法人でその対応に腐心していることと存じます。高福協においても、会員法人が防疫及び感染対策で道標となる指針や仕組みを策定し、経営者及び職員が頼れる体制を整えることが必要だと思慮し、事業所の多い特養施設を代表して、この提言を行います。

新型コロナは、次の感染拡大波があることを想定して、傘下会員がその対応に混迷しない策を協会が今準備しておくことが必要だと考えます。その対応策として

1. 北九州市が監修した施設での新型コロナ対策のマニュアル作成
2. 新型コロナ感染症に関する相談窓口を作る
3. 感染症対策の資料を各施設に配布（併せて感染症対策の動画作成）
4. KRICT※と連携する
5. 介護版 DMAT※を編成する

こうしたことにスピード感を持って取り組むことが大切だと思慮するところです。

この件で、活動に理事会の賛同があれば北九州市の介護保険部門、高福協がタイアップして取り組むこととなります。協会の活動では中村サポートセンター門司施設長、眞鍋看護部会長（コロナ専門職実務班）が準備の第一歩を踏み出しました。

なお、高福協においても事務局を含んだチーム編成で、何を・いつ・どういう活動・いつまでに、等の動きが必要になってきます。特養部会は当然加担しますが、賛同いただいた後の担当割が必要な節はご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

以上、新型コロナ対策の協会活動主旨について、この報告に代えます。

※ 川原先生のプロフィール / ウィキペディアより

川原 尚行（かわはら なおゆき、1965年9月23日 - ）は、医師、NPO法人ロシナンテスの理事長。福岡県北九州市八幡東区生まれ。

九州大学医学部を卒業。九州大学第二外科（現在の消化器・総合外科）へ入局^[1]し臨床医として経験を積んだ。九州大学臨床大学院（生化学）を修了し博士号を取得した。外務省、在タンザニア日本大使館に医務官兼二等書記官として勤務、その後ロンドン大学にて熱帯医学を学び、在スーダン日本大使館に医務官兼一等書記官として勤務、2005年1月に辞職後、

同年4月よりスーダンで活動を開始、翌2006年5月にスーダンにおいて医療を中心に活動を行っているNPO法人「ロシナンテス」を設立。2006年に国際NGO※「ロシナンテス・スーダン」を設立。

2011年3月11日の東北大震災発生時には、日本に帰国・滞在していた。未曾有の災害のため、現地入りし、医療・災害復旧ボランティア活動を行った。5年間の支援事業を継続させた。

現在は、新型コロナでスーダンが入国制限中のため、地元**北九州市からの依頼で『新型コロナ対策専門官』として活躍中**。保健所等の指導、市役所の新型コロナ対策他、専門的見地で医療・コロナ災害対策を助言している。

川原先生と同様に海外(アフガニスタン)で医療・社会支援活動を行っているペンシャワール会の故中村哲先生は九州大学の先輩にあたる。

※ KRICT

組織の名称:NPO 法人 KRICT(北九州地域感染制御チーム)

社会背景

「病院感染(院内感染)」という用語が、感染制御専門家のみならず一般の人々にも認知されるほど、医療機関で発生する感染症への関心が高まっています。医療従事者にとって「病院感染」は起こさないことが当然の基本であり、病院感染対策には専門的知識が必要不可欠ですが、適切に対応できる感染対策の専門家がない施設が多いのも現状です。

また、ひとりの患者が複数の医療機関を受診する機会が増え、一施設で行う病院感染対策には限りがあります。

KRICTは、北九州市とその近郊を地盤に、**医療機関のみならず高齢者施設などの医療関連施設も含めた地域全体の感染対策のなかで、地域の人々により安心安全な医療を提供できるよう活動しています。**

※ DMAT

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており※、災害派遣医療チーム **D**isaster **M**edical **A**ssistance **T**eam の頭文字をとって略して「DMAT(ディーマット)」と呼ばれています。

※平成13年度厚生科学特別研究「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」報告書より

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。